

有明高専だより

第8号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

印刷・西田印刷所

入学式式辞

昭和四十六年度

学校長 藤 一郎

本日(15)に、有明工業高等専門学校第九回の入学式を挙行するにあたり、来賓ならびに父兄多数の御臨席を賜り、「四五名の新入学生を迎えたことは、本校にとりこの上ない慶びであります。

新入生の諸君入学おめでとう本校學則第一条に、本校の目的として、「本校は教育基本法および学校教育法に基づき、深く専門の学業を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする」と明記されています。諸君は、

本校のこの目的を十分に理解の上入学されたものと信じますが、高等学校制度は日本のみならず世界の教育制度の中でもたいのない良い制度といわれていますので、この第一、十五才の少年の頃から技術者としての素養とその学問的基礎を体得しながら、五か年の実験準備のため、青春のエネルギーを徒らに消耗することなく、さらに現在の大卒制度で問題となつてゐる一年半ないし二年の教諭課程を五か年に適切配分し教育してい

ます。本校では、青年人の青春のエネルギーを活用することを強く希望いたします。これによって、高卒率の高い若い年令で実習実験、設計製図を行ない、これら



の実技を通じて技術者としての精神を學びうること。

わが有明高専は、以上述べた特長を生かすため、次の三本の柱を教育の目標としています。

第一の柱は、体育であります。健全なる精神は健全なる身体に宿る」と言われます。健康は人生の基盤であり、特に行動力を求められる技術者には健康は大切であります。諸君は体育の時間はもち

ります。将来技術者として必要な協調性・

第三の柱は、知育であります。ビルを建築する化學新製品を開発造する、電算機によつて情報処理をする、新しい機械を試験製作する、諸君が卒業後從事する何れの職業にとっても高度の技術的知識の必要でないものはありません。技術はその根本である理論を理解しなくては単なる技術に止まります。しかしその技術は日に月に新たになっています。厳しい学習が必要であり、厳しい學習によつてはじめて學問の興味も湧いてきます。スポーツでも苦しい練習を重ねて、はじめて眞の醍醐味が生じるものであります。先生方の教育が厳しいのはそのためなのです。

ここに父兄の方々にお願いがあります。本校では、皆様の大切な御子弟を五か年間預かりして、以上述べました教育方針に従つて嚴格に教育いたし、五年後には一人

の光は入学の喜びと将来に対する希望と共に燃えているからだと思います。この大切な初心。その初心を忘れるこなく学生の本分を守りたいと思います。

車に乗りましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、お互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。

第三の柱は、知育であります。新入生諸君、本校在学の五か年は諸君の長い人生の中でも、身心共に最も変化成長の著しい時期であり、この期間をいかに過すかが

あります。この期間をいかに過すかが

列車に乗り込みましたからもう安心終着駅で待つてはよい、と安

心されると、思ひぬ結果を招くことになります。

第一の柱は、体育であります。人が社会生活を営む上で大切なことはたくさんあります。互いに相手の身を認め、尊敬することほどござりますが、互いに

対し、まちろん、学生相互間でもあります。学校では教官職員に

も接する習慣をつけて実行していただきたい。

第二の柱は、知育であります。どうか御子弟を学校に預け放しにしていただかないで、学校との連絡を緊密にして下さるよう御願ひ

ひいたします。



卒業生を送る

學校長 轉

本校第四回の卒業式を奉行するにあたり所懐の一端を申し述べます。本日本卒業される機械工学科三十一名、電気工学科二十九名、工業化学科十七名の諸君、御卒業おめでとう。

諸君が本校に入學されたのは桜花咲く四月、紅葉十五才であります。した。それより五年、一般科目専門科目の授業、実習や実験、体育やクラブ活動の厳しい鍛錬にたえ、十分の能力を備えた一人のエンジニアとして本校をあとに、日本産業界の各分野に進んで行こうとしています。

考えてみますと、本校にとつて

と送る
轟一郎
ります。
昭和三十八年、茨尾台に植えられた一本の若木有明高専は、教員職員、学生の一体和諧の精神により、風雪にたえ力強く生育して、すでに第一、第二、第三と年輪を重ね、今諸君が第几の年輪を重ねました。亭々たる大樹が茨尾台にそびえる日の来たること、目に見えるようです。そして、この大樹が諸君の心のふる里となることを念願してやみません。

さて諸君が進んで行く日本の産業界をながめてみると、高度経済成長の結果、G.N.P.は自由諸國第一位と榮譽はしましたが、それだけに日本に対する経済的圧力は強く、反面国内には公害の問題が

生じ、また癡達途上国に対する経済援助の責任も次第に増加しておられます。しかも天然資源に乏しい日本が、さらなる発展をなし、公害問題を解決し、癡達途上国に有効なる援助をするには、工業による以外に途はありません。そしてこの工業の明日を支えるものは諸君であることを考えると、諸君の双肩にかかる責務は誠に重いと言わねばなりません。

諸君は、この責務をはたす能力を、本校五年の教育によって養得したのです。

卒業生がよく「学校で育った」とは、社会に出でると既に立たないと言います。その通りではないとしても、それに近いことはあると思います。社会に出で、直接的にすぐ役に立つ教育を行なうことは、今日のように技術革新の著しい時代には不可能に近いことです。今日役に立つ技術も、明日

は相対的退歩であります。これらの長い技術者生活を通じて、はるかに技術革新の原動力となることを認識・技術を磨き、技術革新におけるそれをとらないのみならず、進んで技術革新の原動力となることをみます。

最後に、本日の卒業式にあたって祝電をよせられ、また御繁忙の御参列下さった牛尾名譽教授を諸賢に対し、衷心より御礼申上ります。今は亡き菅田校長先生の御靈も、本日の諸君の卒業をして御臨臨下さっているものとおじます。

本日の来るることを一日千秋のいで待ち望んでおられた父兄の々に対し、心からなる御祝を申し上げます。

以上所懐の一端を述べ、諸君めでたい門出にあたり告辭いたします。

たの し方思 信祝生しほ申り 望でく知が

一泊三日、随分い
に出くわした。まず
元と責任についてだ
は、何となるだろ
とした気持ちだった
らねば」という積極
わった。それに私は
入ったのだから普通
いていけないだろ
が、第一希望がかな
やれると信じてがん
の責任についてだが
が高校へ行かせてく
のような気がしてい
までさせてくれて、
へ進ませてくれたこ
ものだったのだ。そ
けられる国の予算の
が今進もうとしてい
どろくほどの手助け
ら、期待に応えられ

一泊三日、随分い
に出くわした。まず
元と責任についてだ
は、何となるだろ
とした気持ちだった
らねば」という積極
わった。それに私は
入ったのだから普通
いていけないだろ
が、第一希望がかな
やれると信じてがん
の責任についてだが
が高校へ行かせてく
のような気がしてい
までさせてくれて、
へ進ませてくれたこ
ものだったのだ。そ
けられる国の予算の
が今進もうとしてい
どろくほどの手助け
ら、期待に応えられ

ろな間の力で、会考の筆記が、好き嫌いなどは、今まで以上に高専にはかさうに

みがね松かな道自然綠松うたに愛や闇で病題

△第三百▽	21	13	晴
△高等教育について	6	30	起床・体操・かけ足
△教育課程について	7	30	朝食
オリエンテーション	9	00	
△高等教育について	13	00	久住山登山 (牧ノ戸までバス)
△教育課程について	13	00	入浴・夕食
△事務部案内	19	17	オリンピックショヨン
△高生と講書	19	00	
就寝	21	30	
△校長の講話	6	30	起床・体操・かけ足
△学生生活心得	6	00	朝食
オリエンテーション	6	00	
△校長の講話	11	11	学科別ミーティング
△学生生活心得	11	00	研修所出発(バス)
大岳地熱発電所見学	10	30	
学校帰着	15	00	

昭和46年度オリエンテーション



しばらくまわりを眺めている時ふと、僕の人生はじまって以来、最初のでかいでかい山、高専を卒業すること、久住に登る時、一步一歩アリスムをとつて登ったように毎日少しづつ勉強して、頂上に達する時、すなわち高専を卒業する時に、この感激が再び、より大きなものとなって僕の胸に感じられるのだ。そのため一生懸命に頑張ろうと思いつながら久住に別れを告げて下山した。

		第一日▽ 15日(木) 晴											
		学級出発(バス)						一日山登山・山頂研修所到着					
		19 17 14 13 12			19 00 30 00 00			19 00 30			15 14 12		
11	10	9	7	6	19	17	14	13	12	9	15	14	12
00	00	00	30	30	00	00	30	00	00	00	00	20	30
△高専生と読書		起床・体操・かけ朝食			入浴・夕食			映画(高分子の世界)ヨーロッパの旅他			クラス・ミーティング(自己紹介を中心)		
△学科別ミーティング		オリエンテーション			▽高専教育について			▽教育課程について			▽学生生活心得		
研修所出発(バス)		▽事務部案内			▽校長の講話			▽教科自由行動			▽大田地熱発電所		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			昼食		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		
△第三日▽ 17日(土) 雨		就寝			就寝			就寝			就寝		

最初、オリエンテーションといつても、何か、かたづくるしいものに思え、友達などと仲よくなるなどいふことは、あまり効果がないように思えた。しかし、みんなといふしょにバスにのり、九重に行き、いふしょに遊び、話し合い、また同じかまの飯を食べて名前も早く覚えることができたし今まで話をすることもなかつた者とも、仲間になれたので、このオリエンテーションの目的は、充分果たせたと思います。

また、高専というものが、おっかなく思えていたのだけれども、この学校に入学してよかったと思ふようになりました。しかしまだ留年だけは恐ろしい。先輩たちが、勉強をまじめにされやつてしまはれ留年することはないと言われるが、やはり勉強についているかどうか心配です。

次に、映画や、大年地熱蒸電所など見学に行って、この世界の広太さと、不思議なことを考へて、将来的希望もわいた。「高分子の世界」の映画を途中までしかみれなかつたことは残念だった。このオリエンテーションで何よりも嬉しかったのは、友達・仲間というものができることができたことです。

選択による受講

穴山 健

じです。もしもひき合わない学生
がいれば、その学生にとっては、
教室に40人並んでいても孤独でし
ょうし、時間の浪費でじゅう。美
しいと聞える声の聞ける所に行く
べきです。

開校以来念願にしていた五年までの国語授業が、46年度
から実施されることになった。(45年度は、四年までである。
た。)本校では45年度の四年の国語授業にあたって、学
生に受講を選択させたが、これは全国の高専のうちではじ
めたのではないかと思う。引きつづいて46年度も、四
年・五年両学年とも、学生の選択による授業を行っている。

本校の四年、五年は国語
の授業で専ら文学を読む
高専の四年五年は、年令では大
学の一年になります。大学の
教養課程では、国語という科目は
なくして国文学・国語学を学ぶ、こ
れは、大学に入る前に高校でいわ
ゆる国語の力を充分につけてきた
と考えられているからです。本校
の四年生は現代の文章を読む力も
(有明高専より第2号参照)、
古典を読む力も、普通科の高校を
終えた人たちに、勝るものもな
いと見えます。従って、本校の四
五年の国語の授業では、もっさ
ら文学作品を文学として読むとい
うことになります。

こんな湧き出る泉、それは野水池
にたくわえられて、あらためて有
効に使われます。学生は、授業を
受けた時、意志的・目的的に自分
の心の中にダメを築いて流れを變
化させなければなりません。独創を求
めなければ、基礎を固めるためな
らばそれだけでは充分です。し
かし、文学の授業となると、水の
低きに流れるが如く、というわけに
はいきません。文学作品は、たと
えば、水ではなくて鳥の声
誰の所にも届きます。が、たくわ
えてあらためて使うことはできま
せん。鳥の声は聞く人の心の琴線
に触れひびき立つこそ美しい。

文学は鳥の声であり、心
の琴線にふれてはじめて
美しい

一般に、授業における教師と學
生との関係は、水槽と野水池にた
とえられることが多まい。

このように、授業を行なうと、水の
低きに流れるが如く、というわけに
はいきません。文学作品は、たと
えば、水ではなくて鳥の声
誰の所にも届きます。が、たくわ
えてあらためて使うことはできま
せん。鳥の声は聞く人の心の琴線
に触れひびき立つこそ美しい。

その、美しいと感ずるような他
人と共育できない心を持つことじ
そ、文学の授業の目的なのです。
2 それぞれの教師がもつとも
得意とし、興味を覺えている
文部省をテキストとして使
用する。

45年度、本校の四年の國
語の授業は学生の選択で
行つた

昨年、昭和45年度は、非常勤の
先生を一人招聘して國語の教師の
教は3名、四年の学級数は3でし
た。この四年の授業を行なうに當
たって次のように考へました。

1 四年生は3学級であるから
3名の教師をそれぞれ各教室
に配当する。

(3) 学年を通じてクラス変更
はみとめない。

一年たってぶり返してみますと
はみとめない。

一年たってぶり返してみますと
はみとめない。

46年度は、四年・五年共
に学生の選択にした

46年度は、四年生4学級と一
ラス増え、五年生も3学級あるた
め、45年度にくらべて時間割編成

高専カリキュラムに
おける選択の問題

オール必修で、聽講選択の余地
がない——これが高専生の學習意
欲をそぐ——というような学生の
声が、全高専に共通してあるよう
である。本校でも、去る月、瑞
玉大の吉村融先生を招いた、高専
教育について懇談の席上で、この
問題が出た。

うちの御馳走よりとなりの雑炊
(ごうすい)という。高専生諸君
は、直接には経験しない、大學の
学年制への改革を考へている医
学部があるよつたし、わたくしの
理解する限りでは、工学部の専門
課程は、實質的には学年制に近
い

大学の教養課程には、たしかに
選択がある。しかし、教養部のい
まのあり方が、大學改革の焦点の
一つになつてゐる現実を考へねば
ならぬ。人員一つとっても、

思つてゐるらしい。

(5面へ)

3 右の3つの授業の中から1
つを学生自ら選択して受講す
る。

45年度 四年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

46年度 四年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 五年

A 雨百物語(秋成) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 六年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 七年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 八年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 九年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十一年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十二年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十三年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十四年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十五年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十六年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十七年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十八年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 十九年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十一年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十二年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十三年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十四年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十五年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十六年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十七年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十八年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 二十九年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 三十一年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 三十二年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 三十三年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 三十四年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 三十五年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

D 新唐詩選(吉川幸次郎・三好豊治) 菅口治

46年度 三十六年

A 本朝千不孝(西鶴)・おくのほそ道(芭翁) 井上敏幸
B 醍醐日記(道綱の母)・かけらふの日記(堀辰雄) 穴山健
C 心中天の網島・冥途の飛脚(近松) 棚町知弥

卒業研究テーマ (第4期生)

阿志賀充康
n・ヘキサンの金属触媒による気相接触酸化(勝田)



本年3月卒業した諸君の卒業研究題名・指導教官名・学生氏名の順に掲げる。

機械工学科

1 空気圧源の定圧装置(木村)

石原富男 丸山澄雄

2 空気回路の周波数応答(木村)

三ヶ次雄 満田善博

3 円弧状切刃をもつ工具の切削性能(木本)

樺島謙一 今村隆次

4 水流衝突による金属の磨耗(猿渡)

稗田豊次 橋塚建

5 送風機の実験的研究(清森)

近藤有一 永野正雄

6 送風機の特性試験法(清森)

根来育生 吉井正広

7 はすば爾車のホブ切りによる精度誤差(池本)

金富時夫 城戸和仁

8 はすば爾車のホブ切りによる精度誤差(池本)

赤木正美 上田秀隆 時枝敏隆

9 内燃機関の潤滑油消費量について(1)(石崎)

木永英光 佐藤修

10 内燃機関の潤滑油消費量について(2)(石崎)

中村新一 平田敏男

11 18・8ステンレス鋼のコーキ

12 スポット溶接における引張り強さ(小田)

古賀誠一 倉原結治

13 自由対流沸騰熱伝達の研究(永田)

高田哲男 渡辺俊郎 毛利憲一

14 超音波による材料測定(下村)

波谷安洋 森田博己

15 熱伝導率の温度係数(永田)

高田哲男 矢田史八

16 振動論(大山)

山岡秀文 川口秀一 黒田隆一

17 電気工学科

1 SCR 3-φ インバータ(大石)

赤木正美 上田秀隆 時枝敏隆

18 C級増幅器について(川上)

麦庄翠及び電動機の起重電流(川上)

5 原功 久敬 森崎均

19 映像增幅器について(川上)

莘生信一 福永秀次 牧野敬三

20 最適制御について(荒木)

8 システムの動特性推定(荒木)

21 ブルターン現象における單一粒子の動

22 濃度吸収法によるタール系食用色素の分析(清水)

23 摩擦係数(永田良一)

24 ガス露液中のフェノール類の分

解(清水) 木下三千雄 田中弘行

25 ノルフューノールの連続合成(吉田) 竹迫 修 稲河鉄男

26 リーゼガング現象における層

構造と吸着の研究(勝田)

27 N・メチルアセトアミド中の無機塩の溶解機構と溶解度(橋口)

28 BET固体表面積測定装置の設計(平田)

29 薄膜抵抗による減音器の設計(坂本)

30 海老根一英 大津正光

31 周波数カウンタ(近藤)

32 黒田保信 萩原良三 福山栄一

33 工業化学科

34 タイル系食用色素の分析的研

究(赤外線吸収法によるタール系食用色素の分析(清水))

35 リーゼガング現象における層

構造と吸着の研究(勝田)

36 n・ヘキサンの金属触媒触

媒による気相接触酸化(勝田)

37 小野田惟 西山雪男

38 BET固体表面積測定装置の設計(平田)

39 田中誠一 辻田政広 中村秀

40 厚膜抵抗による減音器の設計(辻)

41 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

42 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

43 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

44 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

45 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

46 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

47 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

48 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

49 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

50 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

51 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

52 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

53 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

54 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

55 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

56 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

57 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

58 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

59 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

60 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

61 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

62 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

63 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

64 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

65 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

66 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

67 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

68 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

69 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

70 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

71 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

72 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

73 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

74 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

75 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

76 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

77 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

78 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

79 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

80 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

81 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

82 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

83 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

84 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

85 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

86 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

87 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

88 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

89 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

90 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

91 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

92 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

93 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

94 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

95 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

96 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

97 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

98 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

99 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

100 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

101 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

102 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

103 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

104 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

105 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

106 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

107 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

108 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

109 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

110 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

111 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

112 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

113 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

114 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

115 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

116 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

117 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

118 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

119 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

120 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

121 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

122 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

123 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

124 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

125 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

126 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

127 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

128 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

129 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

130 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

131 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

132 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

133 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

134 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

135 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

136 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

137 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

138 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

139 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

140 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

141 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

142 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

143 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

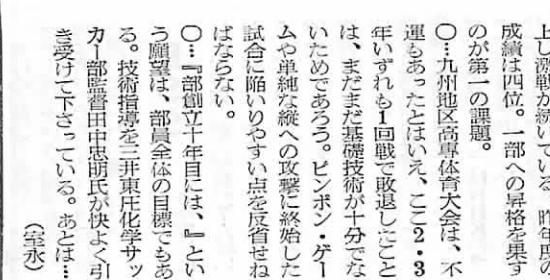
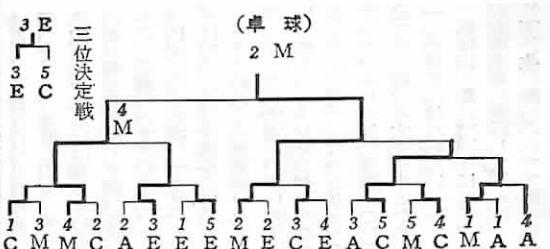
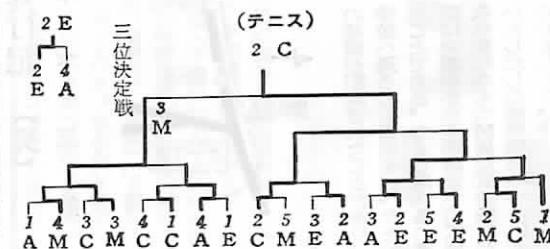
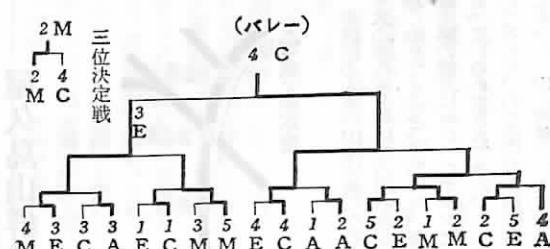
144 塚本金一 豊守幹夫 森邦雄

昭和46年5月15日

有明高専だより

第8号

校内体育大会



○：鹿児島県サッカーリーグは、現
在出場チーム35。年々レベルが向
上し激戦が続いている。昨年度の
成績は4位。一部への昇格を果す
運もあったとはいえ、この2・3
年いずれも1回戦で敗退したこと
は、まだまだ基礎技術が十分でな
いためであろう。ピンポン・ゲー
ムや単純な練習への攻撃を終始した
試合に陥りやすい点反省せね
ばならない。

○：『部創立十年目には、』とい
う願望は、部員全体の目標でもあ
る。技術指導を三井東庄化学サッ
カーチーム監督田中忠朗氏が快く引
受け下さっている。あとほ

（室）
八ヶ岳
ト
今年は春季
合宿を阿蘇青年の家で実施し熊本
市内で練習と試合をした。この合
宿の目的は精神面の強化であった
合宿の効果は参加者の心身の準備
ができているかどうかによって左
右されると思う。残念ながらその

▽本誌も八号を重ね、マネリ化
を防ぐため左記のような編集メン
バーを構成。皆さんの活発な投稿
を歓迎する。

M・猿渡・E・小沢・C・清水・A・松島
一般汽船・岡山・図書室・町・主事室
学生課（大宅・西村）
(昭46・5・6)

前日朝から的小雨で開催が楽し
られたが、異常な乾燥状態続きの
天候であったため、当日（4月29
日）グランドコンディションは悪
好調でさえあった。
昨年同様新入生歓迎親睦クラス
マッチ形式で、技と力の熱戦が展
開された。就職試験目前の5年生
の戦果がかるわなかたのは情状
酌量の余地を認めるとして、職員
チームが優勝したことは稀有名記
録である。各クラスチームずつ
戦績は次のとおり。（主事室）

○：大谷杯サッカー大会は、一月
七日、荒尾市営サッカーフィールドで
も兼ねて行なわれた。対戦校は玉
名工業、結果は惜敗。この大会で
の優勝を三年生以下に期待。
○：鹿児島県サッカーリーグは、現
在出場チーム35。年々レベルが向
上し激戦が続いている。昨年度の
成績は4位。一部への昇格を果す
運もあったとはいえ、この2・3
年いずれも1回戦で敗退したこと
は、まだまだ基礎技術が十分でな
いためであろう。ピンポン・ゲー
ムや単純な練習への攻撃を終始した
試合に陥りやすい点反省せね
ばならない。

○：『部創立十年目には、』とい
う願望は、部員全体の目標でもあ
る。技術指導を三井東庄化学サッ
カーチーム監督田中忠朗氏が快く引
受け下さっている。あとほ

（室）
サッカー
昭和38年に
荒尾の仮校舎の小さなグラウンド
でボトルをはじめてから、す
ぐに8年間の歳月が流れた。来年
は部創立十周年である。一期生か
ら数えてみても20名余の卒業生が
出ており、毎年自ら後輩のために
いって部に金銭の援助をしてくれ
る。まことに申しけなく、感謝
にたえない。

○：大谷杯サッカー大会は、現
在出場チーム35。年々レベルが向
上し激戦が続いている。昨年度の
成績は4位。一部への昇格を果す
運もあったとはいえるが、この2・3
年いずれも1回戦で敗退したこと
は、まだまだ基礎技術が十分でな
いためであろう。ピンポン・ゲー
ムや単純な練習への攻撃を終始した
試合に陥りやすい点反省せね
ばならない。

○：九州地区高等学校体育大会は、不
幸な事故があったので今年の一
年の入部を、心配していたが、

いがれども時間の問題だろう。

あの事故があつたので今年の一
年の入部を、心配していたが、

いがれども時間の問題だろう。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いがそれも時間の問題だろう。

あの事故があつたので今年の一
年の入部を、心配していたが、

いがれども時間の問題だろう。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝を

達成する。小西君もこのとき事故に
あったのだ。あれから四ヶ月にな
るが、ようやく意識も回復始め
た。ちつとの顔の見分けもつくし
こちらから色々質問するなど、うな
づいて答える。まだものは言えな
いが、全員に自信がみられるよう
になった。

この問題を一段と高め今年こ
そは諸先輩が今一歩でできなかっ
た大きな壁を突破して、優勝